

動物学やヒトへの進化から口の機能を探る 「謎解き口腔機能学」

岡崎好秀氏(岡山大学医学部・歯学部附属病院小児歯科講師)
5月23日(日)午前10時~午後1時 M&Dホール 会員3千円、未入会者1万円

5月度生涯 研修講座抄録

私は、大学を卒業以来、多くの障児を診てきた。その中で重度の脳性まひ児には、天折した子ども達が多い。そんな子ども達を振り返ると、重度であるばかりでなく、常に口が開いていたように思う。重度であるから天折したとなると、私たちがあまりにも無力である。しかし口に対するアプローチがなかったら、より重度化したと考えると、思い当たる点が多い。口唇を閉じることができないと、水分を嚥下することができない。ともしずれば自分の唾液を誤嚥してしまおう。

また、自分の唾液で溺れることになる。その他、風邪を引いて肺炎になりやすい。何よりも、噛んで食べることができない。このことも体力の低下につながる。口は使

わないと開いてくる。だから使えばよい。使えない方は、いじれば良い。これだけで多くの問題が防げるのだ。私は高齢者の口や食の問題については詳しくないが、長期の寝たきり状態にある方々には同様の問題が潜んでいるように思う。さて少々、話題が暗くなったので本題に移る。最近、高齢者に対する口腔ケアが脚光をあびている。しかし口腔機能は、いまだに解明されていない多くの「フシギ」がある。例えば、口の中にある食物残渣や細菌など不潔なものを誤嚥

する事で誤嚥性肺炎を引き起こす。ところがだ。そもそも口の中には不潔なのに、何故平気なのだろう?それこそ不潔性口内炎があってもよいのではないか? またヒトの歯は、一生に一度しか生え変わるらない。しかしサメは一生に何万本も生え変わる。だからサメの歯の方が便利だと思われる。ヒトの歯も何度も生え変わればよいのに。サメがうらやましい限りである。でも本当に、そうなのか?これらの何故を考えながら口の機能をみると、明日から小児や高齢者の口が気になってしかたがなくなる。以下、以下の点について魚類からヒトへの進化を通して、日常臨床と兼ねあわせて考えてみたい。

守ろういのち なくせ貧困
後期高齢者医療制度は公約通り「即時廃止」を。

近畿総決起集会


5月22日(土)

午後3時スタート

会場：エル・おおさか

(京阪・地下鉄「天満橋」駅より徒歩5分)

※参加者には交通費(2000円)を支給いたします。
申し込みは協会まで(Tel.06-6568-7731)




堺の豪商・武野紹陽が勧請した天神ノ森天満宮

足利時代末期に、上町丘陵を走る阿倍野街道にあって、新たに大阪(紀州街道)が出現した。

この街道は、現在の西成区岸里付近で大きな森に妨げられていた。堺の豪商の家に生まれた武野紹陽(1502年生)は、この地に天満宮を勧請(天神ノ森天満宮)するとともに、私財を投げ売ってこの森を二つに裂き、街道を通した。人々は感謝して、この森を紹陽の森と呼ぶようになった。武野紹陽は、門人に千利休など茶道史に残る傑物を輩出し、茶器にも「紹陽煎

天神ノ森ノ境界

日常と切り離された別天地

この街道は、現在の西成区岸里付近で大きな森に妨げられていた。堺の豪商の家に生まれた武野紹陽(1502年生)は、この地に天満宮を勧請(天神ノ森天満宮)するとともに、私財を投げ売ってこの森を二つに裂き、街道を通した。人々は感謝して、この森を紹陽の森と呼ぶようになった。武野紹陽は、門人に千利休など茶道史に残る傑物を輩出し、茶器にも「紹陽煎

あり、このあたり一体を天満宮と街道を二つ隔てて、秀吉が住吉神社や堺への往來の途中、茶の湯

つらとすることこの社(天満宮)と街道を二つ隔てて、秀吉が住吉神社や堺への往來の途中、茶の湯

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名称です。

「韓国視察報告会」
日時 5月15日(土) 午後4時~5時30分
会場 保険医会館 定員 50人
講師 韓国視察団 会費 無料

「新人スタッフ総合講座」
日時 5月16日(日) 午前9時30分~午後4時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 油谷純子氏(大阪国際大学短期大学部教授)
内容 午後の講師は歯科臨床・学会部講師団
会費 会員院所スタッフ6千円
内容は「患者接遇の実際とコミュニケーション・クレーム対応」
※開催要項、会場案内図を送付しますので、必ず事前にお申し込みください

「半調節性咬合器の使用法」
日時 5月22日(土) 午後6時30分~午後8時30分
場所 保険医会館 定員 50人
講師 柿本和俊氏(大阪歯科大学高齢者歯科学講座講師)
会費 会員無料、未入会者1万円

「雇用管理講習会」
「できるスタッフを育てる大切な第一歩―新規雇入れ時のポイント」
日時 6月6日(日) 午前10時~午後1時
会場 保険医会館 定員 50人
講師 桂好志郎氏(協会顧問社労士)
会費 会員・家族3千円、未入会者1万円

「第一回社保講習会」
日時 6月12日(土) 午後6時~8時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
定員 100人
講師 社保研究部講師団
会費 会員無料、未入会者1万円
内容 初・再診料、医学管理料、訪問診療
※「歯科保険診療の研究(2010年4月版)」をテキストとします。ご持参ください(第2回は7月17日、第3回は9月18日)

6月度生涯研修
「全身疾患を持つ患者の歯科臨床Q&A―医科歯科連携の実践」
日時 6月13日(日) 午前10時~午後1時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
定員 100人
講師 申偉秀氏(東京保険医協会理事)
会費 会員3千円、未入会者1万円

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

おおさかウォッチング 27